

第6回

徹明小学校・木之本小学校統合準備委員会 会議録

と き：H 24.7.27（金）14:30～16:45

と ころ：木之本小学校読書室

出席者	自治会連合会	松原会長[徹明]、古澤会長[木之本] 長野支部長[木之本]
	P T A	川島会長[徹明]、宮崎会長[木之本] 遠藤副会長[徹明]、大山副会長[木之本] 水岡顧問[徹明]
	学 校	杉山校長[徹明]、吉村校長[木之本] 辻教頭[徹明]、吉岡教頭[木之本]
	事 務 局	教育委員会事務局 長原次長兼教育立市政策審議監 教育政策課 大塚主幹、後藤主任、三村主事 (以上 16 名)

次第

- 1 前回会議録の確認
- 2 議事
 - (1) 各団体での説明会等の報告
 - (2) 木之本小学校の施設見学と通学路確認について
- 3 次回の協議事項・日程

会議録（要旨）

事務局 これから第6回徹明・木之本小学校統合準備委員会を始めたいと思います。まず議事に入る前に前回の議事録の確認をお願いしたいと思います。修正等ありましたらお知らせください。

（市のホームページで公開することを承認）

委員長 それでは議事の進行を委員長にお願いしたいと思います。
後で木之本小学校を見せてもらうということですのでよろしく願います。

では、まずこの間徹明地区の各種団体が集まり統合について話し合いをしまして、その報告をします。

まず始めに、明德小学校の跡地はどうなっているのかという質問から始まりました。跡地活用の協議会を開催しているということですが、他に岐陽中学校の跡地は給食センターとして使っているのですか。

事務局 岐陽体育館は給食調理場として使っております。他に教育文化振興事業団が入っております。

委員長 そういう使い方ではなく、もっとしっかりとした使い方にしてくれという要望と、学校の跡地には学校を持って来るべきだという意見がありました。学校が一方へ行った後、空いた学校の方の町が停滞してしまうので、何か活気のある活用方法をお願いしたいです。統合した後に何が問題だったかという子どもたちの声が聞こえなくなったのが一番さびしいと明德の人がおっしゃっていました。

本荘中学校があまりにも遠く、学校再編によって近くに岐阜中央中学校が出来たのに今まで通りでいいのか、これも学校統合と合わせて考えてもらえないのかという意見がありました。

学校が統合して一学年が2クラスより少なくなることはないのか、学校の統合についてはずいぶん前に審議会があったので、統合の再編の見直しをやってはどうかという意見も出ていました。

岐阜市の総合計画に、跡地計画も立てているのではないかという意見がありましたが、それは事務局の方から岐阜市の総合計画で跡地利用を考えての統合ではないという話でみんなが納得しました。

徹明小学校の人数は少ないけれど先生が目が行き届いて良いのではないかという話も出ていました。それから過去のケースでは、児童の多い方に統合されているので、今回もそうなるのではないのか。この後、梅林と白山の統合があるが、児童の数があまり変わらないが、その時はどうやって統合先を決めるのかという質問も出ていました。学校と地域は密接しており、その場所がなくなることをもっと市は考えてくれないと困るといった意見もありました。

徹明の歴史問題の話がもっと積極的に出てくるかと思ったのですが、

本当に子どものためになるということなら応援しようという意見が多かったです。

スポ少では、今徹明だけでサッカーをやっていると一つのチームが出来ないらしいです。木之本と一緒にできればもっとたくさんの部が出来るのではないかという期待感を持った話がありました。

子ども会については、地域でバラバラになってしまわないかなどの心配事が出ていました。

統合先は人数だけで決定しないで、教育環境などもしっかり考慮して、すべてのことを総合して考えてもらえないとか、学校統合を先に進めて、跡地問題をほっておくのはおかしいという意見もありました。

事務局

岐阜市の総合計画上、跡地についての何らかの心づもりがあって統合を進めているのではないかという意見をいただきましたが、総合計画で何かを開発をしたいなどの理由で統合を進めているわけではなく、あくまでも子どもたちの教育環境ということで統合を進めているということでご理解をいただきたいと説明させていただきました。

委員長

徹明または木之本が跡地になる場合の両方のことを考えながら、跡地利用について検討してほしいと思います。徹明と木之本は道路一本隔てただけなので、その地元だけでなく、みんなで考えないといけないと思います。お金のかかる大きな建物を作るとかそういう話はすぐよろしいとは市が言わないだろうし、何かに利用するという計画はないと教育委員会の方も言われていましたし、我々も考えなければならないということでした。

委員

木之本自治会は、木之本自治会で統合の進め方を考えているが、現段階ではどっちかというところP T A、学校を主として進めていただければと思います。連合会の方は、徹明の意見と木之本の意見というのはちょっと内容的に差があります。会長さんは、いろんな人の意見を聞いてやりたいという非常に強い考え方を持っておられるので、いろんな職業や先輩の方を集めてお話をされたそうです。木之本はそこまでは今のところやるつもりはありません。P T Aを主体にやっていただければいいと思っています。木之本小はP T Aの話し合いをやったのですよね。

委員

6月21日に職員の研修会を行いました。一つ目は学校運営のことで、統合が始まると統合の事と今の学校の事と2つの業務をやらないといけないという心配がありました。統合の話が進めば、加配の先生が来られるということを含めてお話して、学校の教育内容については、教員の方がきちんとリードしてやっていくということを皆さんで認識しました。二つ目はいろんな施設や条件整備の問題があります。例えば給食の献立とか、調理場の設備や、水道の数など事細かな話が出て来ました。これもどちらかの学校に決まった段階で、きちんと施設要望や条件整備の要望をしていくということで、今後そのあたりの心配事は洗いざらい職員が気づいた事としてすべて出せと指示しました。三つ目は交通安全

の問題で、いずれの学校に行くにしても、大宝町の交差点が両校にとって一番のネックになるだろうと思います。その辺りの交通安全をどのように確保するのかなどの心配がありました。これもどちらかに決まった段階で、地元や警察等関係機関と協議しながら、子どもの安全については整備しないといけないことです。

あと、職員の共通の見解は、やはり木之本と徹明の統合は必要であると考えております。木之本と徹明が一緒になると、全部の学年が二学級になり、いわゆる適正規模の学級になってきます。非常に教育環境のいい条件が整った学級規模になってくるから、早くそういう規模の学校が出来ないかという願いを持っているところです。

更にもう一つの統一見解ですが、統合については最終的に教育委員会が決められることとなります。職員としては何よりも保護者の意見、そして地元の意見も尊重をしながら決めていただきたい。職員として、何よりも子どもの教育が充実することの中での発言をしていきたいというのが一致した考えです。これは職員説明会での共通の考えです。

それから6月26日に学校評議員会でも市教委の方に話をさせていただきました。できれば木之本に来てほしいというのが大方の思いです。統合には賛成で、木之本の方に来て欲しいと思っているけれども、どちらにいくか決まれば決まったで、いろいろと私たちは考えていきたいという意見でした。どちらかというところ親の関心は、服装はどうだとか、ベレー帽はかぶるのかとかそのような細かい話であると付け加えさせていただきます。それから4年生以上のお子さんを持つ親さんは、私たちにはちょっと関係が薄れるというムードも少しあるので、下の子どもさんがいる親さんの意見を大事にしたいと思っています。したがって、就学時の健康診断に合わせて、統合についての説明会を開いていきたいと思っておりますので、またこの会で認めていただきたいと思っております。

あと、両校の特徴的な教育活動があります。徹明でいくと鼓笛隊とか、木之本でいくとソーランとか、三世代のふれあいカーニバルとか地域が小学校で積極的にかかわる行事があります。そういう行事をどういうふうに考えていくかということも大きな関心事でした。以上です。

委員

6月26日に木之本のPTA会員の皆様に説明をさせていただきました。その時の質問というのはほぼ無いものに等しかったです。意見集約が出来なかったので、アンケートという形でさせてもらいました。夏休み前までに提出となっていましたので、まだ結果はきちんとそろっていません。

委員

アンケートはどういうふうにとったのですか。

委員

説明会の資料を全ての保護者の方（欠席された方も含めて）にお渡しし、徹明と木之本の統合にかかわる意見等についてということで率直な意見を伺いたいということでアンケートをお渡ししました。

委員 この選択肢から選べというアンケートではなく、何でも意見を言ってください。ただし、子どもたちのよりよい環境を作っていくという立場でご記入くださいということでアンケートをとって自由記述で書いていただきました。

委員 了解しました。

委員 今アンケートの結果に目を通して最中です。ちらっと見た中では通学路の安全性、どちらの学校に行くにせよ早く教えて欲しいという意見とか、児童が30分以上かけて通学することについての今の社会情勢の中でどうとらえていいのかなどです。

一番多かった意見は、統合場所がどうなるのかということです。やはりできれば木之本の方へという意見が当然ありました。どうやってどちらに統合場所を決めるのかという所の疑問もありました。そして早くそれを教えて欲しいということです。二番目に多かったのが通学路の安全についてです。それ以外は通学時間や学校名や跡地利用のこともありましたし、準備は何が必要かとか避難所がどうなるのかとかいろんな話が出ているのですが、意見として多かったのは、子ども会やPTA行事をどういうふうにしていくのかということも出て来ましたし、学校評議員会の時にもお話ししましたが、地域行事がどうなっていくのかという心配もありました。おおむねそういうようなご意見でした。

委員長 ありがとうございます。これからも各団体等や説明会など企画されることがあるかと思いますが、また報告の方をお願いします。続きまして、これから木之本の施設の確認をしたいと思います。

(木之本小見学)

委員長 どうもご苦労様でした。両校を見ていただいて、感想があったらお聞きしたいと思います。

委員 どちらを使うにしても改築は必要だと思いました。一つ質問ですが、建て替えというのは何年ごとにあるのですか。

事務局 耐用年数としてコンクリート造は60年です。もうすぐ60年を迎える学校が他にあるので、そこから建て替えが始まっていくと思われま。こちらは昭和51年から56年ぐらいの建築ですので、まだ年数的にはありますので、改修工事をお願いしたいと思います。

委員 仮に改修した場合は、耐用年数は60年から伸びるのですか。

事務局 それは伸びません。改修は改修だけですので、耐用年数が伸びるわけではありません。耐震補強などもしていますが、それで耐用年数が伸びることはありません。

委員 改修の時の優遇などはありますか。

事務局 優遇というよりも必要な改修はしなければならないし、児童が増えることによって例えば給食室の釜とかの増設が必要ならばやっていかな

いといけません。そういうことは優先的にやっていかなければなりません。

委員長 施設のレイアウトとか統合した時にこういう施設を改良しないといけないのではないかなどの意見がありましたらお願いします。

事務局 もう一つ言わせていただくと、エアコンについては、岐阜市では現在全域的な問題として検討しております。全域的に小中学校に普通教室にエアコンをつけると決まりましたら、一斉にやっていくということになるかと思えます。

委員 2校とも法定とか規則、基準をすべて満たした学校だということと、築年数だとか敷地面積だとかその他設備に関して差がほとんどないという理解でよろしいですか。

事務局 そうですね。

委員 では、施設に関してここで優劣をつけ、どちらが望ましいという話をしていかなければならないのですか。この状態で耐震も含めて定められた規則、基準を満たした学校という前提で、施設もだいたい似たようなもので、築年数も一緒くらいのものでというのが今の結果ですよ。その上でざっと見た感じの使い勝手に優劣をつけるということですか。

事務局 両校見ただけで、どちらが環境的に優れているかということ結論づけるのは非常に難しいと思えます。

委員 ではこれから議論を進める中で、ここがだめだ、あれがだめだというようなことをしていかなければならないのか、それともこちらの校舎のいい点はこういうところですか、というような形でお話しをさせていただくのか、そこのところをはっきりさせていかないと何のために校舎を見て、これからどんな話をすればいいのかという方向性が見えて来ません。徹明は職員室から校庭が見渡せることがセールスポイントであったり、保健室も徹明は運動場側に出入り口があって移動し易いなどそれぞれのいい所をここで話をして、これから統合に関して最終的に意思決定される方に意見としてお伝えするというのであればいい点をそれぞれ話をしていけばいいと思えます。ここで優劣はつかないですよ。

委員長 例えば、今静かな時に見学したので騒音を感じたけれど、これが徹明と違うところだと思いました。また徹明の小学校とは、机の数に違いがあるなと思いました。統合したらどちらの学校も12クラス分とれるのか、そういう点は大丈夫ですか。

事務局 教室は十分足りています。余剰教室を数えれば、どちらの学校にいても児童の受け入れが可能な数はあります。

委員 学校のことは離れるかもしれませんが、徹明だと夜間開放をやっていますが木之本さんはどうですか。

委員 やっています。

委員 そうした場合、体育館を利用される人たちが車で来られた場合は東の方から車は入られるのですか。

- 委員** 西門から入って体育館の横とか南、西に停めています。
- 委員** P T Aの方や地域の方が利用する駐車スペースが徹明より少ないなと思いました。
- 委員長** 金華と京町が一緒になった時に、非常に心配された一つに、通学路の問題があり、京町の父兄と金華の父兄が、お互いの児童の引き渡しをするような恰好でやっていたと聞いて大変だと思いました。子どもの通学上の安全性というのは大変な問題だなと思います。徹明・木之本の場合、たとえば徹明から木之本へ来るとなると徹明の児童が全て東から来ることになり、「見守り隊」など送り迎えの問題についていずれ考えなければならないと思います。逆に木之本の方が徹明の方に来てくれるのとなると、先ほどの大宝町の交差点が問題となるかと思います。
- 委員** 金華と京町の場合は、学校の位置関係が大きい道路を隔てて入り組んでいるので、通学路の問題は考えにくいですね。明德と本郷の場合は菅原町の通りをメインにして考えていますが、生活道路だけに心配もあります。ただ徹明と木之本の場合は交通量の多い道路といいながらも歩道が確保されていて、過去の二校に比べたら、シンプルな位置関係にあると思います。通学路の問題はまた通学路部会みたいなのを今後開いていくことになりますので、その時にはまた交通安全とか見守り隊の方にも参加していただいて、保護者の方の意見を聞きながら考えていくことになるとと思います。ただ大宝町の交差点はかなりメイン通りになると思います。例えば100名ほどのお子さんがあるそこに集中する可能性はあります。
- 委員** 中学生になり木之本小より西の本荘中学校へ通うことを考えれば、徹明小学校の子が木之本小学校の方へ向かうのは苦にならないと思います。逆に東に行くというのは、子どもからすると初めて行くのだから違和感がないかもしれませんが、親の目から見ると自分たちの代はこういうふうに通っていたのが逆になり、違和感を感じます。
- 委員長** 統合校が木之本になった場合、徹明小学校の子が木之本へ通い、そして更に遠い本荘中学校へ通うことになります。木之本の子が一度くらい徹明の方へ歩いてきてくれてもいいのではないかと、その代わり中学校へ通う時は、徹明の子の半分くらいの距離で通えるのではないのかという意見も出ていました。
- 委員** 木之本のP T Aさんの意見でもありましたが、決定した時にどんな条件で決定したのか、やはりそれを知らせないと納得しないと思います。何となくこっちにしましょうでは絶対ダメだと思います。それは統合準備委員会が決められなくて、教育委員会に委ねた時にも教育委員会は、何故にこちらに決めましたのかということと言わないと納得いかないと思います。そのためには、判断する項目を出してもらわないといけないと思います。たとえば次回は統合場所について話し合うのですが、こういう点ではどちらがいいというふうにしなないとあいまいになってし

まうと思います。たとえば今の通学路の話もありますし、校舎の中の安全性、騒音の問題、いろんな問題を細かくして、どちらが適切かということをやっているといけません。

事務局

その評価項目の作成は非常に難しいと思います。

委員

では私たちは何を観点にして話し合えばいいのですか。

委員

今まで示された資料にあるように、明德・本郷について行なったような雛形が出来ているわけですね。準備委員会の意見というのは、教育委員会に決定をゆだねたいという結論で、それに対して、こんな意見が出ました、最終的に教育委員会が何を決定したかということ、場所は本郷とする。通学距離については大差ない。施設にも大差ない。教室数についてはどうこうという理由で本郷に決めましたという最終的な答申を出されたという流れは変わらないですね。

この手順を我々も踏んでいっていただきたいというのが考え方です。

委員

先ほど意見を求められなかったから言いませんでしたが、徹明小学校のPTAとしては、今後のスケジュールとして、10月には意見書を教育委員会に出さないといけないということ、どんな意見を出さなければならぬかということ、前回の統合を参考に、こうとこうとこうであり、この意見についてはアンケートをとりますよという話は進めています。同じような進め方をして行くのですよね。

事務局

明德・本郷はこういうふうに進めましたという事で、資料を出してあるだけで同じように進めなければならないというわけではありません。

委員

逆に統合場所を来月決めてくださいと言われても、そんな決められないよというのが皆の意見だと思うのですが、意見を言って決定をゆだねるといふ方向性が最終的な話し合いでよろしいでしょうかということです。

委員

本当はこういうものは、最終的に意見を集約するのが望ましい形だけど、それはお互いに非常に難しいと思います。だから明德と本郷にしても結論は市におまかせするよという形になってしまいます。

委員

徹明の者は徹明小に来て欲しいのです。それは明らかな皆の総意です。ここで木之本小を統合校としますという答えは我々PTAからは出て来ないです。だけでも統合していかないと子どもたちのためにはならないというのを重々理解しているので、しっかりとした検討をして結論を出せば、従う腹積もりは当然出来ています。この中で議論をうまくしていけないと先ほど自治会長さんがおっしゃったように、実はうちは木之本へ行きたくない、岐阜中央中に行きたいので全く違う再編をお願いしたいという意見もぼろぼろ出てくる環境にあります。そうすると統合そのものがない方がいいと考える父兄も決してゼロではありません。じゃあ木之本と統合させていただいたとして、本荘中に行くよりは全く統合というものを白紙に戻して、岐阜中央中に行きたいという意見が大勢を占めるようになってしまうと収拾つかなくなるのではない

かという気もしています。そのあたり、やはり意思決定を今後どう進めていくかという方向性はしっかり出していただきたいし、正直徹明のPTAの中では、徹明に来ていただきたいと思っている以上は、統合準備委員会で木之本にお願いしますとPTA会長として言う気はないので、最終的には徹明のよさをアピールしながら、それを市におまかせして、市が決めたことに関してはみんな従うのだよというまとめ方を今日現在していますのでぜひその点はお願いしたいと思います。

委員 やっぱり徹明と木之本さんの間では温度差があると思います。お互いの思いとして自分のところに統合校を持っていきたいっていうのが当然ある中で落とすところを考えなければなりません。

委員 岐阜駅前、北側の再開発を待っているエリアという意味合いで言えば、建物も立地も徹明小学校の方がふさわしいと思います。じゃあ人数の多い方にどう納得していただいて来るのかというのは大きなハードルだと思います。今岐阜駅前の北側では、古いビルを何棟か壊して住居付きの再開発を計画しております。そういった住居付きのビルを開発して行きながら、その住居の方が本来通学するであろう学校を廃止するというのは全く矛盾をしていると思います。担当する部局と違うと言っても教育委員会と都市建設部は連携をとられるべき話であって、じゃあ話をそこまで広げてしまうのか、あるいは地域の住民の方の意見を中心に考えるのか、子どもの安全を中心に考えるのか全然チャンネルが違うわけですが、これを総合的に判断して結論が出せるのは、我々ではなく市しかないというのがわたしの考え方です。徹明は徹明としてのよさをこれからも申し上げていくつもりですし、それをふまえて行政が総合判断をしたら、それに対しての結論をわたしの責任に及ぶ範囲の方たちには納得していただく努力は最大限します。街づくりを考えていたら徹明の方が場所的にはふさわしいと思います。今の子どもというチャンネルじゃなく、10年後の岐阜駅の北側って意味合いで見れば徹明小学校を跡地にして、住居付きビルを開発するとなんて全く矛盾していると思います。

委員 ただ、開発も進むだろうけど、住宅の付随したビルだからと言って子どもが増えるかどうかというのは実際言い切れません。

委員 私が言っているのは、増えるかどうかはわかりませんが、岐阜市政として増やそうとしています。住宅を駅前に、働く場所と住む場所を一緒にさせましょうと行政は考えていらっしゃるのですよね。我々も空洞化している岐阜の市街地に関してそれが有効だと考えているわけです。話のチャンネルをそこまで大きくしすぎるとここで絶対まとまりません。

委員 僕の考え方をいうと、逆に言ったら空地とか公共用地としてそういうものがあつた方がいいと思うこともあります。それはいろんな考え方があつていいと思います。ただ岐阜市がそういうところをどういう考え方を持っているのかということとどう主導していくのかというのが大事

だと思えます。

委員 何で木之本が統合しないといけないのか、統合したいのは徹明ではないのか、木之本だけじゃなく他にも隣接校があり、そこを統合を進めたら徹明の子は中央中へ行けるよという極論を言う人もいました。そんな意見が出て来ると、市としてこれからの展望を考えた時にどうなのかということがないと我々のレベルでこっちがいいですという結論的なことは言えません。皆さんの希望は、木之本は木之本、徹明は徹明、それは当然のことです。そんな話を何度しても同じです。だから行政が今後の展望から考えてこちらがいいと示すべきです。今の徹明小学校へ行っている子が本荘中へ行くより中央中へ行く方がいいというのは個々の話です。

委員 中央中の話は両方からたまたま出ましたが、その話はないですよとはっきりと打ち消さないといけません。その話はないのですよね。

事務局 ありません。

委員 そういうことを早めにアナウンスしておかないとそういうことを要望として出せるのですかという意見が会議するたびに出来ます。

委員 それについては、比較条件はこうですよとやっていかないと何となく決めましたではいけません。だから意見を出し合いましょうと言っているので、市も意見を出さないといけません。またみんなの意見を引き出そうとしたら、自分らが案を練って、こういうことについてどう思いますかと提案してくれないといけません。どういう面ではいいというのを判断材料にしたいわけですよ。市だけで決めるというと駄目なので、地元の意見を聞こうとしますよね。そのために両方見たのであなたたちはどう思いますかということをやったらどうですか。でないと全然進みません。さっき校長先生が言われたようにこういうことについてはどういう判断をするかということをやっていかないといいと思います。分け方はおまかせします。そういうものがないと市も判断できないと思います。

委員 教育委員会としては統合準備委員会で統合校を決めていただきたいというのが、以前からいただいている要望として重々承知はしていますが、それぞれにそれぞれのよさ、学校の敷地であるとか設備に関して今回両方見たけど差がないという状況で、唯一はっきりしているのが、人数が多いか少ないかくらいで、それ以外の件についてはなかなか優劣がつけがたいというのが今までの検討結果ですよ。であれば最終的には双方の意見を聞いて、行政に判断をゆだねたいというのが話の流れであると私は感じているのですが、ぜひそのあたりを斟酌して今後会議を進めていただければと思います。

委員 正直本音の部分が少し出てきたので、その中で結果として皆さんの立場からいうと、もう一任という形で落ち着くと思っています。ただ一任するところまでに、僕たちがどう納得するかという案を出していただ

いた方が逆算として早いのではないのかと思います。結論の出しようがないのが事実じゃないでしょうか。その中で少しでも時間をかけて、地域の人たちとかを説得できるものを作っていった方が大事なような気がします。

委員 結果7回、8回と委員会をやって、では一任しますという会議をするくらいだったら早く皆さんで結論を出して、次に進む受入れを作っていた方が、先生方にとってもそうですし、地域にとっても良いと思うのですがいかがでしょうか。

委員 だから結局言い方が悪いけれど、市がこうやって言ったのだからこれに従おうにした方がいいのか、これからお互いに議論していい意見が出て来る要素があるのかということです。

委員 これだけで意見は出きったって言ってもいいようなものです。いくらやっても一緒だと思います。

委員長 結論の基準というのは、「子どもの教育のために」というスタートだったわけですね。それを基本にして決めなければならないが、先ほど徹明のPTA会長が言われたように、地域発展の現状と学校問題と切り離せないよというのも本当の話だろうと思います。

そういう点でいろんな矛盾した話が出て来るけれど、統合したら子どもが幸せになってくれないと駄目なのは間違いありません。

いわゆる設問を羅列して話し合いをして、結論は一任という形になるかもしれないが、せつかく今までやってきて、問題点を討論せずにさよならというわけにもいかないと思います。

次の機会に皆さんで知恵をしぼって話をしてもらって、それから最終的結論を出したいと思います。

事務局 どういう項目で評価するかという項目立てをして、それを出させていただきますので、次回それに基づいて話をしていただいて、また施設について気づいた点等がありましたらまた言っていただいてということの中で一任なら一任ということもあるかもしれませんが、ご意見を頂くという進め方でさせていただきたいと思います。

委員長 それでは事務局の方で日程調整をお願いします。

(日程調整)

事務局 本日はありがとうございました。